

同時進行型



島根県雲南市立大東中学校
坂本 由美子

実践テーマ

自分たちがイメージした桜の様子を、「さくらさくら」の旋律を基に、さまざまな箏の奏法を取り入れて表現を工夫する。

授業の進め方・ICTの活用の仕方

- 〈導入〉 姿勢や、基本的な奏法を考えて「さくらさくら」を練習する。
- 〈展開〉 6枚の桜の写真（満開の桜、散り際の桜、夜桜…）から、自分たちがイメージした「さくらさくら」を表現するには、どの奏法を使うと良いか、校内サーバに接続している電子黒板からアクセスし、「箏の奏法」（合わせ爪、スクイ爪、割り爪…）を視聴する。ワークシートに演奏の組み立てを整理し、まとめる。
- 〈まとめ〉 いくつかの班で発表する。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢や、基本的な奏法を考えて「さくらさくら」を演奏する。 前時にイメージした「さくらさくら」を振り返る（静止画）。 	●桜の写真
展開	<ul style="list-style-type: none"> 校内サーバにアクセスし、「箏の奏法」を視聴する（PC教材）。 「箏の奏法」を視聴しながら、イメージを表現するためにはどの奏法を使うとよいか、ワークシートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自作PC教材「箏の奏法」 ●ワークシート
まとめ	いくつかの班で発表する。	

音楽



6枚の写真から自分たちの「さくら」をイメージする



校内サーバ上の自作PC教材「箏の奏法」



グループごとに生徒が校内サーバに接続している電子黒板を操作して視聴・確認

生徒の反応・効果

- 自分のイメージを表現するためにはどうしたらよいか、いろいろな奏法を確認・活用することで、生徒の課題への取り組みに対する興味関心が高まった。
- 他の生徒の練習の妨げにならないように、自分で音量を調節でき音色も各自が確認できた。

活用のポイント

- 電子黒板でさまざまな奏法を視聴し、奏法の違いによる音楽の表情の感じ取りを深めることができる。また、それを実際に箏を演奏する活動に結び付けていくことが効果的である。